

「分子病態セミナー」を開催

2014 年 10 月 1 日

10月1日（水）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、米国オハイオ州立大学ジェームズ総合がんセンター准教授 中野伊知郎 先生を迎え、「Glioma Stemness as a Moving Therapeutic Target」と題して、がん進展制御研究所分子病態セミナーを開催しました。

セミナーでは、成人の脳に発生する原発腫瘍で最も多い悪性グリオーマについて、近年のゲノム解析から明らかになった3つのサブタイプ分類をもとに、中野先生の解析結果について説明があり、それぞれの亜型に存在する癌幹細胞の違い、その治療抵抗性獲得についての分子メカニズム、さらには新規治療法樹立への試み（前臨床、臨床治験）等、大変興味深い膨大な内容を詳細に、お話していただきました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



分子病態セミナー

演題名 : Glioma Stemness as a Moving Therapeutic Target

講演者 : 中野 伊知郎 先生

Associate Professor,
Department of Neurological Surgery,
James Comprehensive Cancer Center,
The Ohio State University

日時 : 10月1日(水) 17:15~18:15

場所 : がん進展制御研究所 4階 会議室

成人の脳に発生する原発腫瘍で最も多い悪性グリオーマは、近年のゲノム解析から新たに3つのサブタイプに分類されたが、それぞれの亜型に存在する癌幹細胞の違いについては、ほとんど判っていなかった。

我々はグリオーマ癌幹細胞の亜型の同定とその中で生じる「進化」による治療抵抗性獲得についての分子メカニズムを解析し、新規治療法樹立への試み(前臨床、臨床治験)を行っている。

連絡先 : 後藤 (がん進展制御研究所・分子病態研究分野 内線6730)